

若くして豊かに引退する方法

金持ち父さんの改訂版 ロバート・キヨサキ

{ クリントン政権時代の労働長官 ロバート・ライシュ }

- * 金持ちと貧乏人とのギャップがどんどん広がり深刻な問題になりつつある
- * 労働長官としての目標は国民により多くの仕事をより高い賃金で提供し努力すること、そして一生懸命働いていると仕事と賃金が全てのように思えてくるが実際はそうではない
- * 思いがけない収入の道が待っている新しい経済においては二つの道が姿を現しつつある、それは高速車線と低速車線でその中間はない

{ 働くのをやめる時にあなたは・・・ }

米国保健福祉省の20歳～65歳の国民追跡調査の結果は65歳時点で、米国人100人の内35人死亡・54人は政府や家族の援助を受け生活していた、5人は必要に迫られてまだ働いていた、4人は恵まれた生活を送っていた、後一人は金持ちになっていた。

{ 不労所得とポートフォリオ所得 }

二つの所得を人生の一部にした瞬間に人生は変わる、二つの所得合計が生活の支出を上回ることが「裕福度のバロメーター」

勤労所得をゼロにしても「裕福度」が+Rになるほど裕福度は上がり、そしてどんどん楽になる。

今、アメリカで一番力がある労働組合はNEA（全米教育協会）で米国の教育システムがなかなか変化しない理由の一つは教師からなるこの組合の影響力によるところが大で、彼らはネットワークの力を知っている。

金持ち父さん曰く、金持ちになりたかったらネットワークを作り、そのネットワークを他のネットワークにつなぐこと、ネットワークビジネスは投資信託より安定している。

ウォールマートのサム・ウォルトンは大きなディスカウント・ストアのネットワークを作り「良い商品をより安い値段でより多くの人々に提供する店のネットワークを作った」

{ 自分に対して気前よくすることから始める }

～小さく始めて大きく夢を見る三つの貯金箱にそれぞれ1日30ドルを分割

- ① 貯金 ② 投資 ③ 寄付 毎月・一年・10年・30年たったらどうい
う結果が得られるだろうか。

{ レバレッジ6つの習慣 }

- * 第一の習慣 会計係を雇う、収入・支出・資産・負債をきちんとまとめる
- * 第二の習慣 勝てるチームを作る、会合するメンバーは各種の専門家を～
弁護士、会計士、銀行員、株式・保険・不動産ブローカー
- * 第三の習慣 情報の鮮度を高める～時代遅れにならない、先を見通す習慣
- * 第四の習慣 成長し続ける～産業時代はあと20年もしないうちに消滅
(政府が自らの破産とお金に関する約束を守れないと決めた時)
- * 第五の習慣 新たな失敗を恐れない～学校での正解は一つだが実社会では
いくつもある、若い頃正しかったことが年をとると正しくない
ことも、時代が変わるとともに自分も変化していくこと、
失敗を避ける人は成功も避けている、失敗は成功の一部で決して
切り離せない。
- * 第六の習慣 自分の声に耳を傾ける～失敗する人は自分が望んでいること
は、はっきりさせようとしない、むしろ決して望まないことに
焦点を合わせる
 - 自分が望んでいることを考える
 - 望んでいない気持ちを望んでいる気持ちに変える
 - 行動に移す。

{ 資産に保険をかけないのは危険 }

銀行では不動産には保険を掛けるように要求するが紙の世界(株式・債券・投資信託)の資産にはなぜ保険が要求されないのか・・・
プロの投資家は保険を掛けるが平均的な投資家はなぜかけない・・・
投資家は資産を持ち続ける一方で投資したお金をできるだけ
早く回収したいと思う
ファンダメンタル投資家は不動産の財務諸表を見る・関心は経営状態・収益、
長期的に見たビジョン、ビジネスの可能性

{ 三つの基本的なトレンド }

- ① 上向き傾向の市場～二重天井あり
- ② 下向き傾向の市場～二重底あり
- ③ 横ばい

{ いろいろなタイプの人と上手に仕事ができる }

E・・・従業員 S・・・自営業者 B・・・ビジネスオーナー I・・・投資家

企業家は4つのタイプの人全てとコミュニケーションを取り一緒に働く方法を学ばなければならない、Bの経験者トップと、それ例外の判断力には雲泥の差がある、大企業であれトップを極めていない人の判断力は甘い

{ ビジネスで最も難しいことは人と一緒にやっていくこと }

偉大なる企業家は偉大なるリーダーであること、企業家とは「チャンスを見極め、チームを一つに纏め、そのチャンスを変え利益にするビジネスを起こす人の事」そしてチーム全体に幸せをもたらす。

{ あなたはどんな人生を生きたいか }

1. お金が自分のものとなり二度と働く必要が亡くなったら自由時間で何をしたいか？
2. 今の生活水準・ライフスタイルのままでどのくらいの時間を持ちこたえられるか？
3. 何歳で引退したいか？そのとき稼いでいる金は今より多いと思うか少ないと思うか？
4. 給料を全く必要としない人生を送りたいか？
5. お金がありすぎて困り人生か・・・蓄えるのに苦勞する人生か？どちらを過ごしたいか？一生懸命働く必要のない人生かいずれを望みか・・・
6. 稼ぐために働く人生か？一生懸命働く必要のない人生かいずれを望む
7. 投資は危険だと思うか・・・自分のお金では？ 他人のお金では？
8. 家族以外の人と一緒にいる時間が長い人はどんな人？新しい友人は作るべきか否か？
9. 金持ちになるために働く人生か・・・安定を求める人生か・・・
10. 仕事を止めたら10億ドル出すと云われたらそれより価値のあることに使えるだろうか・・・